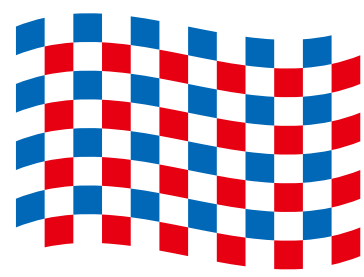


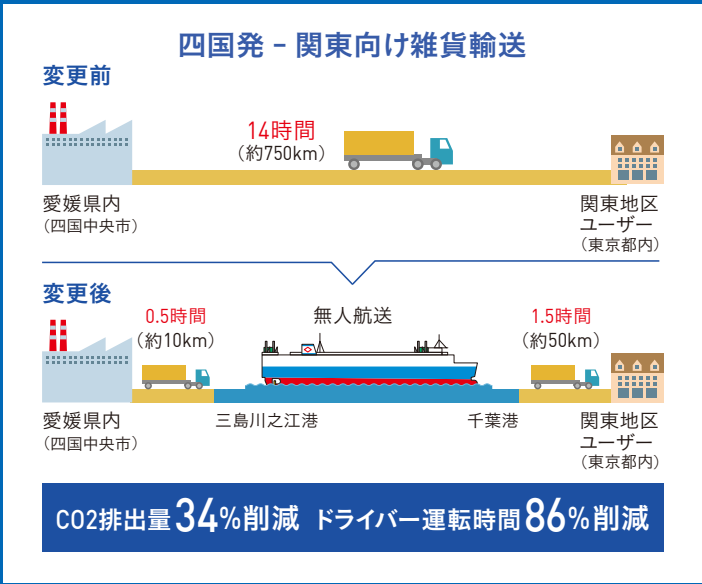
大王海運グループは 2025年日本国際博覧会 大阪・関西万博「TEAM EXPO パビリオン」 へ参加します。



大王海運グループは2025年8月22日～24日の3日間、2025年日本国際博覧会 大阪・関西万博「TEAM EXPO パビリオン」へ参加します。環境に優しいR0-R0船による次世代物流や人手不足解消の取り組み、CO₂排出削減・資源有効活用に貢献するトンネルコンポスト技術を紹介します。持続可能な未来へ向けた私たちの挑戦を、ぜひ会場でご覧ください。

R0-R0 船（大王海運）

当社は2002年にR0-R0船による定期航路事業を開始しました。現在、四国と関東を結ぶ唯一のR0-R0船社として、三島川之江港（愛媛）、千葉港（千葉）、堺泉北港（大阪）、宇野港（岡山）、和歌山港（和歌山）に大型R0-R0船3隻を週6便（和歌山は週1便）寄港させています。近年、モーダルシフト、環境負荷低減、ドライバー不足への対応が課題となる中、2021年には国内最大級の新鋭船「第五はる丸」、「第六はる丸」を就航させ、輸送能力を拡大しました。環境負荷の少ない船舶輸送を選択することで、持続可能な社会の実現に貢献。未来を見据えたエコロジカルな物流ネットワークを構築します。



陸から海へ。運び方改革。



R0-R0船 第五はる丸



バイオの力で環境貢献。

バイオトンネル

トンネルコンポスト（三共エンジニアリング）

トンネルコンポスト方式は、家庭から出る可燃ごみを焼却することなく、再資源化する方法です。生ごみや紙くず・廃プラなどが混在する可燃ごみを密閉型のバイオトンネル内で微生物により生ごみを好気性発酵させ、残った紙くず・廃プラなどを固形燃料としてリサイクルします。およそ5万人分の可燃ごみをトンネルコンポスト方式で処理する場合、焼却しないこと、固形燃料を石炭の代替燃料として使用することにより約6,500トンのCO₂を削減することができます。トンネルコンポスト施設は主に5つの設備で構成されます。この設備の採用を進める企業・自治体は数多くあります。

- 破碎・混合設備 …………… 袋詰めごみを破碎し、木くずと混合して微生物発酵を促進。
- バイオトンネル（発酵・乾燥設備） …… 混合物をトンネルに投入し、自動制御で17日間発酵・乾燥。
- 選別設備 …………… 発酵後のごみを取り出し、機械で金属や不燃物などを分別。
- 固形燃料化設備 …………… 乾燥ごみを破碎・加熱して、燃料ペレットに加工・減量。
- バイオダッシュ（脱臭装置） …………… 木チップを通して微生物が臭気を分解し、空気を浄化放出。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と地域発展の
新機軸をつくる

10 人や国の不平等
をなくそう

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくばる資源
を大切に

13 気候変動に
適応する

14 海の豊かさ
を増やす

15 陸の豊かさも
守ろう

大王海運株式会社・美須賀海運株式会社・大王海運物流株式会社・
三共エンジニアリング株式会社・三共オートサービス株式会社・大王海運リクルート株式会社・
川崎紙運輸株式会社・いわき大王紙運輸株式会社・いわき陸運株式会社

詳細については
ホームページを
ご確認ください。

大王海運

三共エンジニアリング